

川崎市労働災害防止研究集会で4労組が表彰 講演テーマは「シニアが活躍できる職場づくり」!

11月1日(火) 14:30~16:30 川崎市産業振興会館において「令和4年度 川崎市労働災害防止研究集会」が開催され、約80名が参加、そのうち川崎地域連合と川崎労福協は49名が参加しました。



あいさつをする福田市長

この取り組みは川崎市内の各事業所での労働災害防止活動の推進と定着を図り、安心して働くことの出来る職場環境をつくるため、また「住みやすい」「働きやすい」まちの実現に向けて行政機関、使用者団体、労働団体等が連携して企画・運営し、開催しています。今回で58回目を迎えました。

この集会では過去3年以上にわたり重大災害を起こしていない団体の功労者と功労団体を表彰しています。今回、川崎地域連合2団体、川崎労福協2団体が功労団体として表彰されました。

また、この取り組みは講演会と団体の事例発表会も行われています。

川崎地域連合は、今年度より、この講演会を「地域フォーラム」と位置付けることにしました。講演会のテーマは「シニアが活躍できる職場づくり」、講師は(株)ディアロゴス代表取締役 神谷敏康氏でした。



講演では「個」を尊重する。柔軟に対応する。より良い職場環境に心がけるなど、「アンコンシャスバイアス」という切り口で話をされました。



日本鑄造労働組合
嶋宮書記長



JERA労働組合東扇島火力支部
竹内執行委員長



川崎市教職員組合
石村執行委員長



東芝電波プロダクツ労働組合
永瀬執行委員長